



平成28年度

## 大丹波連携の推進

### 丹波の食の魅力発信「大丹波味覚フェア」の開催計画

歴史的・文化的につながりの深い兵庫県と京都府にまたがる丹波地域が連携して取り組んでいる「大丹波農林ブランド力強化」の一環として、大丹波の気候風土で育まれた農畜産物や特産品等の豊かな食の魅力を発信する「大丹波味覚フェア」は、今年で6年目を迎える。

今年は、昨年に引続き阪神梅田本店で開催し、阪神間の消費者に大丹波の味覚を充分アピールするとともに、来丹者（交流人口）の拡大をめざして、観光パンフ等の配布を通じて、大丹波ファンの獲得を図る。

また、地元での販売が中心の農畜産物、農産加工品、スイーツなどが有名百貨店で販売できる絶好のチャンスと捉えて、出店者による積極的な商品アピール等を行う。

- 1日 時 平成28年10月5日（水）～12日（火） 7日間
- 2場 所 阪神百貨店梅田本店 地下食品売場 催事場
- 3主 催 大丹波連携農林推進協議会と株式会社やながわ（H26・27年度 味覚フェア開催運営委託先）との共催
- 4開催運営管理 株式会社やながわ（H26・27年度 味覚フェア開催運営委託先）
- 5内 容
  - (1)大丹波の魅力発信  
大丹波の食の販売、観光パンフ等の配布等を通じて、大丹波の魅力発信、誘客、PRを展開する。
  - (2)主な販売予定品目  
丹波を代表する丹波黒大豆枝豆、丹波栗（生栗、焼き栗、むき栗、栗渋皮煮）をはじめ、兵庫丹波、京都丹波から新米、黒豆味噌、パン（黒豆・大納言小豆・栗あん）、しいたけ、丹波しめじ、漬物、お茶、卵、丹波の食材を使ったスイーツ、農畜産物や加工品等を取り揃え、試食を行うなどにより、大丹波の食の魅力を強くアピールする。
  - (3)出店(出品)者  
市町、JA、商工会、商工会議所、観光協会等を通じて、出店者（出品者）を募る。
  - (4)出店（出品）物の考え方  
「大丹波味覚フェアの出店物の考え方について」による。